

令和5年度第2回 中野市立図書館協議会会議録

開催日時 令和6年2月21日(木) 午後3時から午後4時20分

開催場所 中野市立図書館 2階会議室

出席者

(委員)

宮本博委員、徳竹正委員、中村貴樹委員、関口真人委員、西原芳子委員、小田切勝利委員、竹内昭江委員、郷道哲章委員、松本則夫委員、小島佐和子委員

(事務局 教育委員会事務局図書館)

大塚館長、佐野副館長、北原副主幹

欠席者

なし

会議内容

1 開会 副館長

2 あいさつ 館長

3 報告事項

(1) 令和5年度市立図書館の運営状況について (p 1～4)

(質疑)

委員：1ページの貸出冊数内訳で、北部分館は一般書が多く西部分館は児童書が多いのはなぜか。

事務局：西部分館は子ども食堂への児童書の団体貸出しがあった。また地理的に一般の方は本館か豊田分館へ行く方が多い。

委員：土曜日の開館時間について、北部は正午までで西部は午後5時まで。委託の関係もあると思うが、将来的には整合してほしい。

4 会議事項

(1) 令和6年度市立図書館運営方針及び事業計画(案)について (p 5～7)

(質疑)

委員：5ページの重点目標の(5)で、職員資質の向上は職員全員の事か。

事務局：委託先も含めて全員です。

委員：以前は県立図書館の会場でレファレンスの研修会をやっていた。そういう所へ交替で行ってもらおうとよい。

委員：リニューアル工事については1月公表の実施計画や今日の新聞の予算案の記事にも出ていた。よく予算が付いたと思うが、どのような整備をするのか。

事務局：子育て世代が集まれる空間や、ビジネス関連の利用のためのスペースを整備する。

駐車場も傷んでいるので補修したり、公園内にキッチンカーが入りやすいようにもしたい。

委員：飲食や喫茶コーナーについてはどうか。

事務局：コーヒーなどが飲めるワゴンタイプのを考えている。

委員：長野以北ではこの図書館が一番心が安らぎ、蔵書数も多い。私たちにも相談したり、協力して進めてほしい。

事務局：何らかの形で要望等を出していただければありがたい。

委員：どんな形になるかは協議会には出さないのか。

事務局：児童開架コーナーの場所を子育て世代のエリアに、閲覧室側をソロワークスペースにして、動と静に分けたい。家具も替えたり、児童の方ははだしで歩けたりおはなし会のスペースも広く取れたりして、使い勝手のいいようにしたい。

委員：小布施もじゅうたんだったか、くつろげる感じがした。読み聞かせの会も関わっているの、そちらが望むような児童コーナーになればいいと思う。

事務局：いろいろご意見等あれば、お寄せいただければありがたい。

委員：5ページのサピエ図書館とは何か。

事務局：視覚障がい者のための図書館で、朗読CDや点字図書を所蔵しているわけではなく、全国から持ってきてここから借りられるというネットワークです。当館は登録しているの、要望があれば当館にないCDや点字図書を送ってもらい、当館から貸出できる。単館だとボランティアの協力を得ても作るのが大変なので、全国視覚障害者情報提供施設協会がネットワークを立ち上げた。

委員：北部や西部の公民館の図書室は日当たりが悪いが、部屋を換えることはできないのか。

委員：もともと公民館図書室だったので、その中で違う場所にというのは不可能と思う。木島平村では公民館図書室ではなく独立した図書館をという意見が女性議員から出て、若者センター内に図書館のスペースが設けられた。野沢温泉村公民館は正面突き当りに図書室がある。公民館に図書室を備えるのは社会教育法にあるので、それで作った図書室が図書館の分館になった。ご要望は分かるが難しいのかなと思う。

事務局：補足しますと、図書室は分館として開いてないときは貸館として貸せるようになっているので、施設的には公民館という形です。運営はうちの方でやっていますが、難しいということです。

委員：今日、車を止められなかった。さっき駐車場を何かやると言ったが、余裕があるなら駐車場を拡張してもいいのかなと思った。

委員：以前、今そちらの住宅建っている所を駐車場にという案もあったがボツになった。拡張というのは難しいのかな。

委員：緑地帯の方へうまく延びるものならね。ダメだろうな、予算的に。

委員：子供たちも遊んでいるし、そこへ車が入るといのは。中野小のグラウンドへ車を入れるのもいけない時代に、車を入れるのは無理じゃないですか。図書館まつりで前手（旧北信安楽院）へ止めさせていただいたが、そうじゃないときも使えればありが

たい。

委員：図書館が毎日、駐車場が一杯になることがあるんだと驚いた。

事務局：比較的午後の方がすいているのでこの会議も午後に設定しているが、午前中や土日休日は混んでいる。イベントのときは駐車場が足りなくなるのが目に見えているので、ひまわり保育園の駐車場を借りたり、もと安楽院だった所の駐車場を借りたりしている。

委員：5ページの3重点事業で、小学校総合学習図書180冊と充実を図っていただき感謝申し上げる。今年度から市のネットワークで学校の図書館と市立図書館が全部結ばれ、互いの学校や市立図書館にどんな図書があるか、やっと検索できるようになった。小規模な学校ほど図書の購入予算が少ないが、学習内容は大きな学校と同じでなければいけない。学校予算で買えないものは市立図書館にあるとありがたいので、要望としては冊数を増やすのも大事だが、学校で貸出リクエストが多いジャンルの本が複数セットあるとありがたい。

2点目は(2)魅力ある図書館づくりの推進で、春のこどものとしょかんまつりは倍増、秋の図書館まつりも22%増ということでチラシを見せていただいたら、来年度のこどものとしょかんまつりの特技じまん大会が面白いと思った。子供たちの好きなこととか、得意じゃなくても伝えたいことを伝えられる場なので、校長講話で話してチラシも校長室でとれるようにした。本校も図書館に見学に来ているが、下校後も気軽に来たり将来のきっかけ作りも大事なので学校でも取り組んでいる。

最後はどんな図書館を目指すかということで、1に市民に親しまれる図書館運営とあるが、木曾町の図書館もカフェ併設みたいな感じでいろんな人が来て、動と静のスペースがある。ぜひそんな気軽に集まって話ししたり本を読んだり、そんな場所になるようにお金を使っただけであればと思うし、職員の研修でも先進的な図書館に視察に行っていて、こういう図書館を目指すというのを内部からも外部からも声が出てきたらいいと思う。

委員：前に岡谷か諏訪で、学校と図書館がネットワークでつながって、市立図書館の本を予約すると車で学校へ配達されたり、学校の本を市立図書館から予約すると車が、シルバーさんか分からないけど回って、借りられるシステムがあったと思う。

委員：あそこは諏訪の広域でやってて、給食便で届けるシステムはありました。

委員：今度、学校とこちらがつながって、相互ネット上で……。

委員：蔵書は確認できるけど、貸し借りは行かなければいけない。学校同士がつながったので、図書館になれば他の学校で借りたりできるので、全部がつながってよかったなど。坂城町も町内の学校全部と町立図書館がつながっていて、端末で貸出し予約すると回ってくるシステムが稼働していると思います。本当はそうなるといいんですけど。

事務局：いま要望しようとしているんですね、校長会で。それも踏まえながら、電子図書で学校連携を進めようと考えていますので、ご協力をお願いします。

委員：図書購入費は来年はどんな見込みか。

事務局：予算要求した額は昨年より少し増えている。ただご存じのとおり図書の単価も上が

っているので、冊数で積算すると横ばいである。

委員：時間延長の話があった。いま9時～7時、9時～5時で土日祝日だと思うが、職員も交替や勤務状況が厳しい中で試行をして、5時が6時になり6時が7時になりと時間がかかったと思う。長くやってもらえばありがたいが、どんな理由で延長の話が出てきたのか、今年からすぐやるのか。

事務局：一応リニューアルオープンに併せて考えている。試行的に、1時間、8時くらいまで。いま小布施の図書館が7時に戻ってしまったが、8時まで試行して、ビジネスマンがターゲットだが、高校生も市役所内に9時まで居れてけっこう利用があるので、試行的に1時間伸ばしてみたい。

委員：長野はたしか9時半からだったか（9時45分）、飯山も9時半から。中野は9時が変わらないまま後ろへ引っ張ったんですね、労働時間が伸びているんです。働き方改革の中で職員の皆さんの負担が大きいが、本当に時間を延ばして増えるか増えないか、試行を見据えて慎重にやっていただきたい。

委員：6ページの6年度の事業計画で、3魅力ある図書館づくりですが、創作教室が5回あって文学講座が1回なんですね。でもここ図書館なのでもっと文学的なことをやっていただきたいと思う。今年度はいろいろ30周年でやり、文学的なことも入っていた。たしかに聞いたことないような名前だったので参加者は少なかったかもしれないけど、図書館でありながら創作教室の方が多いというのは疑問を感じて、文学講座ももっとやってほしいのでぜひお考えいただきたい。

事務局：今年度30周年実行委で行いましたビブリオバトルなどについては、新年度以降も続けていきたいと考えている。

事務局：今回3月にやる文学講座も（会場の）定員一杯になってしまったので、ある程度こちらの方にシフトした方がいいかもしれません。

委員：玉城司さんの枕草子は図書館でやったの（30周年記念事業）。ある人が出たいんだけど、最後に文を書いてまとめるというのがあったから出ないと言っていた。

事務局：「現代枕草子を編む」は今の自分たちはどうかというのを書いて、最後それをまとめて製本し1冊の本に仕上げるところまでが講座になっていました。書くことに抵抗があるので見合わせるという方は何人かいらっしゃいました。参加してくださった方々のものは一冊に製本し、また貸出できるようにしたいと思いますが、なかなか面白いものが出来上がりました。

委員：そうだと思う。何人ぐらい出られました？

事務局：7人くらい。

委員：書くのは皆さん嫌がる。大学入学のための小論文の添削を塾でやってきたが、学校の先生の添削が下手、自分で書いてないんだから。クラス通信も下手で、読みたくなくなるようなものを書けない。そういうのを図書館でもできるといい。

委員：図書館を考える会というのがありましたが、今はない？

委員：ないです。

委員：図書館とすれば文学講座とか読書会を、書くのはハードルが高いかもしれないが、私も文学講座を担当したことがあるが、聞くだけでも、宮沢賢治さんの短い文章で

も理解が変わってくる。それを映画化したものを見てみるとか、いろいろ方法はあ
る。図書館としてはそこを大事にしていきたい。

委 員：来年はやられるんですか、枕草子は。

事務局：来年は予定していません。なかなか、資料費を上げると講師費を下げてみたいな予
算的なことがあります。やればよいとは思いますが。

委 員：ざっと皆さんの意見を聞いていて感じたことがある。市では子育て世代を重点的に
やりたいとのことだが、この図書館の利用者は大人の方が多いか子どもの方が多い
か。

事務局：大人の方が多いです。

委 員：この計画案を見て、子ども中心にうまく作っている気がして、いいと思う。子ども
が来れば大人も来る。子どもになるべく来てもらうために、キッチンカーも、何か
お祭りごとがあれば子どもが来て大人も来る。できればリニューアルでいろいろ変
えるよりも、子どもが遊びに来れる環境をぜひ作ってもらいたい。もう駐車場なん
かどうでもいいから、子ども中心に考えてほしい。私もスポーツで、スキーの關係
をやっているが、親がやらせないと子どももやらない。子どもを呼べば大人も来る
んですよ、何でも。子ども中心に考えてもらいたい。この計画案はいいと思いまし
た。

委 員：子どもが大きくなると、大人が来なくなる。子どものときに、図書館へ行こうよと
言って親と来る。もう何十年前も前に行ったなという人が多いので、大人は大人で読
書に充てる時間も増えているので対応していただいて、でも子どもメインにという
のは非常にいいことだと思います。

委 員：今の子どもは本を読まない、すべてスマホで済ましている時代なので。呼ぶには何
かお祭りごとをすれば出かけるし、外で飲み食いして中へ入ってくればこんないろ
んな本があるんだ、興味を持ってもらえれば利用者数も増えると思う。

事務局：ありがとうございます。

委員長：他に何かありますか。なければ了承とします。

(2) その他

委 員：確認ですみませんが夜7時を8時に、PMの方ですね。大変かと思いますがども。

事務局：はい。労働基準法には引っかからないように、しっかりやっていきます。

5 その他 なし

6 閉 会 午後4時20分